



試技に挑むパラパワーリフティングのピア・ラオパクディ選手



ラオス 障害者スポーツ普及促進プロジェクト

2016年8月～2021年6月

ラオスの地方に住む障害者の多くが、家族の庇護の下ひっそりと生活をしており、社会参加の機会が閉ざされている状況にあります。そのような中、障害者スポーツは、障害者が仲間と出会い、社会的自立に向けて自信をつける良い機会となります。

本案件では、障害者スポーツの指導者を養成し、この指導者を中心に、ラオス国内での競技スポーツ選手の育成と草の根レベルのインクルーシブなスポーツ（ユニバーサルスポーツ※）の普及を進め、スポーツを通じた障害者の社会的自立促進に取り組んでいます。

※ユニバーサルスポーツとは、高齢になっても障がいがあっても、大人でも子どもでも、みんなが一緒に参加できるスポーツです。障がいのある人もない人も共にできるスポーツであり、スポーツの得意な人もそうでない人も一緒にできる、レクリエーションやコミュニケーションを目的としたものまで含まれます。

草の根レベルのインクルーシブなスポーツ（ユニバーサルスポーツ）及び競技障害者スポーツ指導者養成の仕組みの確立

ユニバーサルスポーツ指導者及び競技障害者スポーツ指導者認定の仕組み、指導者養成カリキュラム、指導教本を策定しています。

ユニバーサルスポーツ指導者の養成

ユニバーサルスポーツ指導者養成講座実施により指導者を育成し、育成された指導者を重点地域のラオス4県スポーツ局に配置します。重点地域において草の根障害者スポーツクラブが運営され、草の根障害者スポーツの交流が促進されることを目指します。

競技選手育成のための指導者養成と競技障害者スポーツ選手の育成基盤整備

競技障害者スポーツ指導者と審判員の養成、選手育成プログラムの策定と選手への育成プログラムの実施を通して、障害者スポーツ指導者と選手の育成基盤を整備します。

ラオス社会における障害者スポーツへの理解の浸透

競技スポーツ選手の学校訪問等の社会啓発活動や、企業やマスメディア等に対する障害者スポーツの広報活動によりラオスの障害者スポーツの理解が深まることを目指しています。